

# 電友会だより

(発行日)

平成三十年

三月一日

(発行責任者)

佐野常雄

## 会長あいさつ

会長 佐野常雄 (昭和三十一年卒)

皆さま、こんには。電友会会長二年目を迎えることが出来ますこと、昨年は、皆様と役員皆さまのご協力で、楽しい活動ができましたこと御礼申し上げます。

就任時の会報でも申しあげましたが、会社・工場には勤めない会長でございます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、私はお陰様にて、何一つ病氣も無く、血圧も正常で、卒寿を迎え毎日楽しく過ごしております一端を申し上げます。皆さま方の参考になれば幸いです。

今から六十余年前、元電気科長の菊地巖先生から「物づくりは人がつくる。その人間づくり」が最も大事である結論です。

人間となるには「健康な身体に、精神が宿る」の言葉通り、その健康づくりには、本会の「施設見学」があり、精神面の事業には、郷土の歴史や仏像・仏教を大川原先輩から多くを学んでおります。毎年本会総会終了時のアトラクションに「健康づくり・笑い」の講演をお聞きしていますので、総会には是非ご参加下さるようお待ちしております。

そこで、私の勉強会から「表」は、元県社会福祉事務所主任栄養士技師小松文子先生からの「楽しく、食べて、健康にしよう」①②③をバランス良く食べて、健康な身体をつくりましょう。

次に「精神面」では、楽しい毎日を取り「地域老人クラブ」に入会され、地域の方々とお話やゲーム、歌を唱って「表」に「可愛い年寄と成る為」のように、お家の方や近所の方々からそのような

云われる老人になりましょう。この表は、数年前の老人クラブの勉強会で戴いたものです。どうぞ、今年も明るい、楽しい「電友会」になるように、お互に元気に頑張りますよう。

合掌

表 I

## 「楽しく食べて健康づくり」

今朝は何を食べてましたか？

- ① 主食 …… ごはん・パン・麺
- ② 主菜 …… 肉・魚・卵・大豆製品
- ③ 副菜 …… 野菜・きのこ・海藻

果物 ( )  
牛乳・乳製品 ( )

「やることからやってみよう」

- ・ ① ② ③ をそろえて バランスよく
- ・ 油ものは控えめに、野菜はたっぷり
- ・ 朝食はしっかり、夕食は早晩に軽く
- ・ 外食 注意、間食 注意

福島県会津保健福祉事務所  
元主任栄養士技師 小松文子先生



可愛子哥成爲  
 可愛子哥成爲以好客自喜直如  
 取金出金手憎口遇知言中他人上言  
 聞教者生者知死生之理家  
 田滿骨感謝志時不不心不心  
 捨金不烟金金死  
 生  
 向本當金死  
 今多金大事  
 內認本當昔自慢話  
 我時行過瘦力  
 是爲在停私駭自生受持爲我子  
 孫世間標慕可愛子哥成  
 物駭自生爲濯生涯何自趣  
 味之也也長生

(高齡者研修会時の資料から)

《電友会の活動報告》

事務局 白井 達夫（昭和四十三年卒）

◇史跡探訪（六月）

田植えが終わり水田に苗が映える六月二日、会員十四名で会津美里町の史跡探訪を、昭和三十年電気科卒の大川原史郎氏の案内で開催しました。以下、探訪個所の概要を紹介します。興味のある方はぜひ訪れてみては如何でしょうか。

探訪当日は、若松市内と美里町内の集合場所から弘安寺で合流。突如の豪雨の中、山門で雨宿りしながら行程説明後にスタートしました。

【弘安寺（曹洞宗）】所在地：会津美里町米田字堂ノ後甲147  
中田の観音様として親しまれている会津三十三観音三十番札所で「会津ころり三観音」のひとつ。

観音堂は、弘安二年（1279年）に建立されたので弘安寺と称し、銅造十一面観音像、脇侍の不動明王、地藏菩薩、三尊は国重文に指定されており、鎌倉時代の铸造仏として東北地方の代表的な仏像である。

野口英世の母シカは毎月十七日午前一時頃に猪苗代三条潟から徒歩で詣り、一晚観音堂にお籠りして息子の息災を祈ったと云う。

「抱きつき柱」は安産願いであったものが、悪事災難除け祈願となり、現在は「ころり三観音」の「抱きつき柱」となっている。



弘安寺山門にて雨宿りしながら大河原さん（中央奥の柱の右）から説明を受け探訪スタート



仁王門：かつては木造金剛力士像が祀られていた。探訪時は伝統行事の蛇の御年始の藁の蛇が祀られていた。



石川啄木の歌碑



【法用寺（天台宗）】所在地：会津美里町雀林字三番山下3554  
会津三十三観音二十九番札所で、養老四年（720年）徳道上人の開基と云う古い寺院。大同二年（807年）に火災により焼失し、その後、徳一大師が再興。法用寺は慧日寺が隆盛をみるまでは多くの末寺と飯豊山も司掌し、法用寺時代とも称する盛時があった。修験者が多く住み、三十三の坊も存在し大きな勢力を誇っていた。  
境内には、会津最古の厨子（国重文）や室町時代の銅鐘など多くの文化財を有するとともに、石川啄木歌碑などもある。  
「木造金剛力士像」は平安時代に造られた像高二尺を超すケヤキの一本造で国重文に指定。

「三重塔」は会津に現存する唯一の塔。江戸時代中期に造られた大変美しい三重塔で国重文に指定。  
「虎の尾桜」は会津五桜のひとつで、四月末から五月初旬にかけて咲く八重咲の花弁が珍種の桜である。



【龍興寺（天台宗）】  
所在地：会津美里町  
字龍興寺北甲  
2222・3

徳川家康から三代に仕えた天海大僧正が出家したと云われる古刹。嘉祥年中（848年）慈覚大師によつて開山。阿弥陀如来を本尊としている。墓地には天海大僧正の両親の一对の五輪の塔がある。

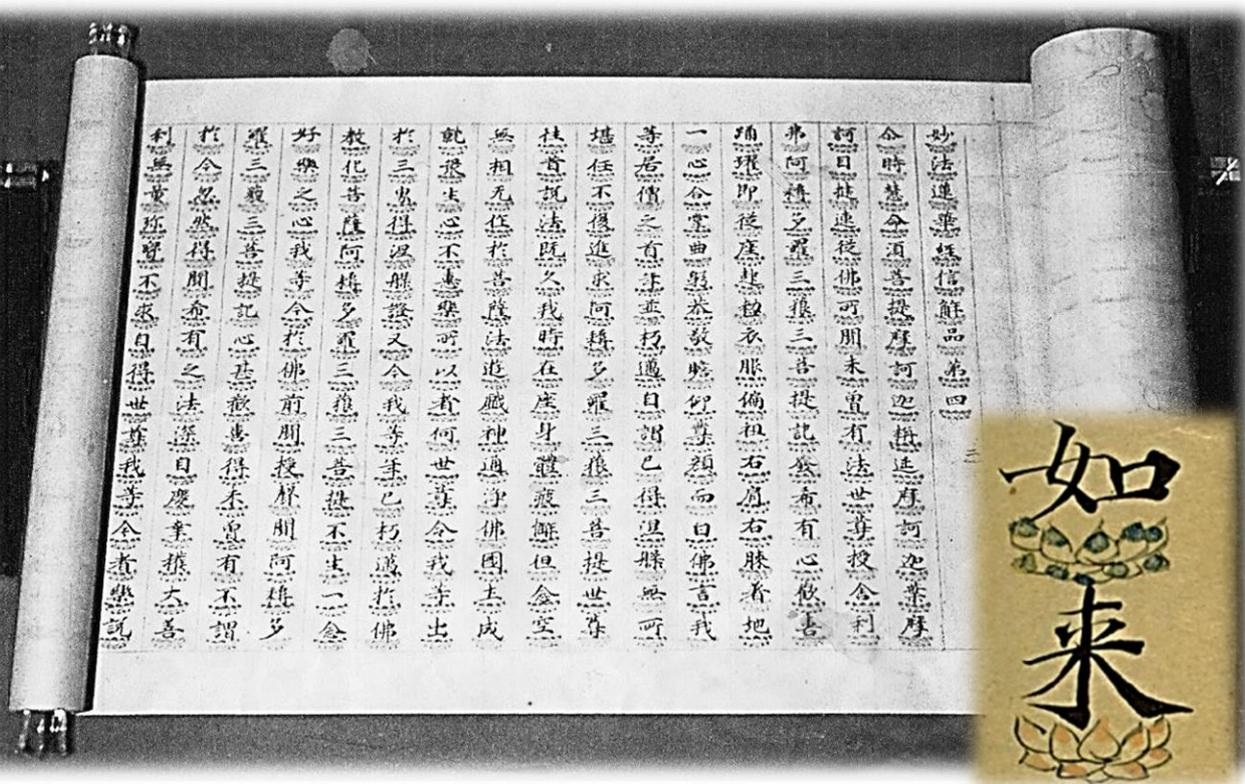
国宝「一字蓮台法華經」は、平安後期（1100年代）約

三十名の手により法華經（妙法蓮華經）、開經、結經（序論と結び）を書写したもので、極上の斐紙に銀野を引き、一行十七文字詰めに墨書され、経文69、384字が朱、金、青、緑、白に彩色された蓮の台座に乗せるように写経されており、縦29cmで全長は9m90cmに及ぶ。

敷地内の園の蓮は約二千年前の種子を開花させた古代蓮で、夏早朝に咲き誇る様子は見事である。

探訪後には蕎麦処の「花扇」で美味しい蕎麦を堪能しながら情報交換など充実したひと時を過ごしました。

毎回、詳細な資料提供および案内役の大川原さんに御礼申し上げ、史跡探訪の報告とします。



国宝「一字蓮台法華經」

拡大図

◆施設研修会(八月)

今回の施設研修会は八月三十日に、見学先その①「母校電気科実習室」、その②「ほまれ酒造(喜多方市)」と異色の組合せで実施しました。参加者は八名と何時もに比べ少なかったのですが、マイカー二台に分乗しての、和気あいあい楽しい研修会でした。

母校の見学は電気科主任井上浩一先生のご協力により実現しました。入校直後に校長室で二瓶賢一校長先生の歓待を受け(予想もしていなかったサプライズです)会工の現状などの説明を受けました。

実習室の見学は、卒業してから半世紀前にタイムスリップ。懐かしい機器・器具、測定器などの品々に再会しました。



工作工事実習室



高圧実験装置



機器類



手前左:井上先生 中央奥:二瓶校長先生



巨大なタンクを見上げる



会工見学後は、近年開通した会津縦貫北道路(若松〜喜多方間約13kmの高規格道路)で喜多方市へ移動。  
ほまれ酒造は、酒どころ会津でも一番の出荷量を誇る酒蔵です。巨大なタンクや匠の技に加えて最新技術を活用した酒造りの工程を見学後、テイステイングギャラリー「雲嶺庵」で試飲やお気に入りの銘酒を購入。緑豊かで広大な日本庭園で寛ぎのひと時を過ごしました。  
昼食は、佐野会長の地元「道の駅 あいづ湯川・会津坂下」で参加者年相応のヘルシーランチを摂りながら語り、帰路につきました。



「雲嶺庵」日本庭園にて

◇定例総会(十月)

第二十三回定例総会および懇親会は、平成二十九年(二〇一七年)十月二十日(金)に、会津若松市内の「ホテルニューパレス」において、会員二十三名とご来賓の七名を加えた三十名で開催されました。

総会は、物故者に対する黙祷と校歌斉唱の後、成田良副会長(昭和三十五年卒・会津若松市)の開会宣言で開式。星陽一さん(昭和四十年卒・東京都)を議長に選出し、平成二十八年度(期間：平成二十八年十月一日～平成二十九年九月三十日)の活動経過報告、会計・会計監査報告。さらに、平成二十九年度事業計画(案)・予算(案)、弔慰規定(案)の制定と役員任期の暫定延長(案)の各議案が満場一致の拍手で承認可決されました。

議事終了後には、電気科主任の井上浩一先生より、三年生の進路状況や母校の近況報告を受け、母校の繁栄と後輩の活躍に全員の大きな拍手でエールを送りました。井上先生ありがとうございました。

総会終了後の記念講演は、会津若松市生涯学習総合センターの田崎朝美氏を講師にお招きし「唱歌とヨーガでいきいき講座」と題した講義で、身体ほぐし懐かしい歌を合唱。音楽専攻の講師の美声に酔いしれた楽しい講演会でした。

恒例の懇親会は、成田副会長の司会で開会。ご来賓を代表して若狭春生同窓会長と二瓶賢一会工校長のお二人からご祝辞を頂戴した後、渡部藤雄さん(昭和三十一年卒・岡山県倉敷市)の発声による乾杯で祝宴に入りました。佐野常雄会長(昭和三十一年卒・湯川村)の大黒舞の余興などで大いに盛り上がりました。

根本一雄さん(昭和三十六年卒・会津美里町)の音頭で応援歌A調、頑張れ応援歌を全員で声高らかに歌い上げ、青春の熱い血を呼び起こしました。田中健一さん(昭和四十二年卒・埼玉県久喜市)の中締めの後、再会を誓いお開きとしました。

〈事務局からのお知らせ〉  
 次回の第二十四回会工電友会定例総会は、平成三十年十月十九日(金)ホテルニューパレスで開催予定です。また、本部同窓会総会は翌二十日(土)に開催予定ですので合わせてご参加ください。



田中氏



佐野会長



渡部氏



二瓶校長先生



唱歌とヨーガ



田崎講師

## 《会工高 電気科からの寄稿》

「三年間を振り返って」

三年電気科 渡邊 一輝

私が会津工業高等学校に入って、約三年が経ちました。長いようで短かったこの三年間を振り返ってみて思ったこと、感じたことを書かせていただきたいと思います。

入学して一番最初に取り組んだのは国家資格である第二種電気工事士の取得です。皆、最初は電気知識がゼロなので、放課後等デイサービス後の補習など前向きな気持ちで取り組んでいます。試験が近づくにつれ、皆のやる気が出てきて意欲的に授業や補習に取り組みました。結果、合格者は近年で一番多い40名中35名でした。これは、先生の熱心なご指導があったからだと思います。ありがとうございます。

一年生の時は全てが初めての経験で、期待より不安の方が大きかったのですが、優しい先輩方が色々教えてくださったので、学校がとても充実していました。

一年生で一番辛かったことは部活動でした。私は野球部に所属していました。高校の部活動は中学校とは全く違い、礼儀や先輩との上下関係も厳しく、何より何事に対してもスピードが速かったので、慣れるのがとても大変でした。しかし、先輩のありがたい言葉や、先生のご指導で少しずつ自分自身、成長することが出来ました。

二年生に40人全員で進級することができ、大きな行事が二つありました。一つ目は修学旅行です。一日目に奈良の奈良公園に行き鹿と戯れ、二日目に京都に行き、金閣寺、清水寺、班別自主研修に行きました。金閣寺は歴史の教科書でしか見たことがありませんでしたが、実際に見てみると、とてもきれいな景色で普通のお寺とは違った美しさがありました。清水寺では、よくテレビで見る景色が広がってテレビで見るとより歴史を体で感じる事が出来ました。班別自主研修は、京都の町を班員と歩いて、都会の一面と歴史的な一面の両方を楽しみました。また、目的地まで無事に行けるか不安でしたが、班員と協力し合っただけで無事に着くことができたので良かったです。改めて、仲間は

大切だと感じました。三日目は、大阪のUSJに行きました。皆、修学旅行で一番楽しみにしていた場所で、全員とても楽しんでいました。一生の思い出になりました。

二つ目は、インターンシップです。それぞれお世話になる会社は遠かったのですが、社会に出る前に、会社の厳しさであったり、仕事の大変さを学べた三日間だったので、すごく自分のためになりました。三年生では、学校の最高学年としての活動が増え、一年生とは反対に全ての行事が最後になりました。私は部活動が一番自分の心の中に残っています。自分たちの代で主将を任せていただき、チームをまとめることの大変さを実感しました。思うように行かなくて辛い日々が続きましたが、支えてくれた仲間や先生方には本当に感謝しています。私は部活動を通して、礼儀、努力をすることの大切さ、感謝することの大切さを学びました。そして何より、人間として成長することができたと思います。進路については、皆、自分の夢を叶えようと必死に勉強に励んでいました。その結果、今年も多くの生徒が大企業に就職することが出来ました。

三年生も残りわずかです。卒業前に先輩達に一言、残したいと思えます。辛い事、自分の嫌なことがこれから先あると思えます。でもそこから逃げずに前向きに努力すれば必ずその先には明るい未来があります。頑張ってください。



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン  
UNIVERSAL STUDIOS JAPAN



「二学年を振り返って」

二年電気科 高橋 凛

一年生の4月に希望と不安を抱え、会津工業高校電気科に入学してから約2年が経ちました。入学式で呼ばれる名前に大きな声で返事をしたその時から私たちの高校生活が始まりました。私たちのクラスは現在39名の生徒が在籍しています。他のクラスや先生方から「二年電気科は、動物園みたいだ。」と言われるくらい個性豊かな人たちの集まりで明るく元気一杯笑いの絶えない、にぎやかなクラスです。

入学してからすぐに、国家試験である第二種電気工事士の資格取得に向けての学習が始まりました。入学したての私たちには、電気については何もわからない状態でしたが、授業や放課後の補習などでの先生方の熱心なご指導により、最初は解けていなかった問題が解けるようになりました。先生方のおかげで電気の知識が身に付いていくにつれて電気が楽しく感じられるようになり、一年生の時点で多くの生徒が合格することが出来ました。また、第一種電気工事士や危険物取扱者などの上級資格にも挑戦し合格に向けて日々学習に励んでいます。

二年生での高校生活最大のイベントともいえる修学旅行では、広島・大阪・京都などを4泊5日で巡り友人と時間を共有する大切さを学び、今までより一層絆を深めることが出来ました。また、限られた時間内で行動する集団行動の大切さを感じました。

残りの高校生活が悔いの残らない有意義なものとなるように、クラス一丸となつて各々の進路に向けて努力していきたいと思えます。



# E

ELECTRICIT

「電気科卒業生を送り出すに当たり」

担任 佐久間 智広

電気科で担任を持つてから、早いもので、もう卒業の時期を迎えることになりました。三年間の高校生活の始まりは、入学してすぐの第二種電気工事士合格へ向けての取り組みからでした。始めは、訳も分からず取り組んでいた生徒達も、一か月も過ぎる頃になると、ようやく内容の理解が追い付いて来て、合格ラインに届くようになりました。そして、それなりの手応えを感じながらいよいよ本番の試験に臨みました。今年卒業を迎えるクラスは、全員合格とはなりませんでしたが、一回目に9割の生徒が筆記試験に合格し、37名が卒業までには第二種電気工事士の免状を持って卒業となります。また、進路についても、全員の内定が早めに決まりました。ほとんどの生徒は、いわゆる有名企業に内定して行きました。ここで改めて思うのは、生徒自身が面接や筆記試験に向けて頑張ったのはもちろんですが、会工電気科に対する産業界の需要の高さです。会工内の他科と比較しても、求人票での確認の段階から電気科や機械科に対する求人件数は他の科を圧倒していました。業種や職種を問わず、幅広く産業界から期待されているのは、やはり電気の知識技能はあらゆる仕事で潰しが効くのと同時に伝統の力が大きいと感じた次第です。

さて、今後生徒達も会工電気科卒業生として社会に巣立つこととなります。電気の知識技能を身に付けたということは、今後の大きな武器となつて行くと思えます。これからの未来は、AIが社会に広く浸透することにより、社会構造の激変が予想されます。今ある職業の中には、いずれAIが担うことになり、人間の手からは離れていくものも多くあると予想されています。しかし、電気科の卒業生はそのようなAIと共存する環境作りを受け持つ立場側の人間として、活躍することになると思えます。と同時に、AIやロボットには決して真似の出来ない強みを持つてよう、将来的にも頑張ってくれることを期待していきたいと思えます。



## 卒業

## 「電気科の課題研究」

電気科主任 井上 浩一

会津工業高等学校に赴任して6年目になりました。この6年で、実習テーマの精選を科職員全員で行い、強電、弱電、情報技術の3部門のテーマに分けて実習を行うことにしました。その集大成の科目として、私は課題研究という科目があると思っています。

今年度、本校では、年度当初に掲げた課題研究のテーマを、班員の顔写真とテーマ名を校長室前に掲示することで、指導者である教員と生徒が一体となって取り組むことを確認しました。

電気科の生徒諸君、課題研究の取り組みはいかがでしたか？

私の班の状況を振り返りたいと思います。私の班はエアホッケー台を製作しました。

製作物は、台、パックがゴールした時のセンサ回路、得点版回路になります。

台を製作するにあたっては、木工加工技術、計測技術、工具の操作技術が必要になります。センサ回路、得点版回路を製作するには、電気回路の知識とはんだ付けを主とする電子回路製作技術が重要になります。

どちらの製作も、慎重に作業に取り組む姿勢が必要とされるのです。私の班のメンバーは、個性派ぞろいであり、元気の良さを前面に出す集団でした。慎重な作業とは無縁かな・・・いや、私も同じ班員の一人ですから判断することはできませんね。

では、慎重に取り組むとはどういうことでしょうか。私は、事に取り組むにあたり準備を欠かさないと捉えています。準備とは環境を整えること、事の完成形を見据えて、必要な知識を身につけていくことになります。

ですから、何を行うにも勉強することになるのですね。よって、学業に取り組む習慣が大切になります。

卒業生諸君、高校3年間で学業に真剣・慎重に取り組みましたか？答えは自分の胸に締まっておいってください。これからの生活で、学業の必要性を感じるはずですよ。

今年度の三年生の進路状況について紹介します。就職希望生徒が県

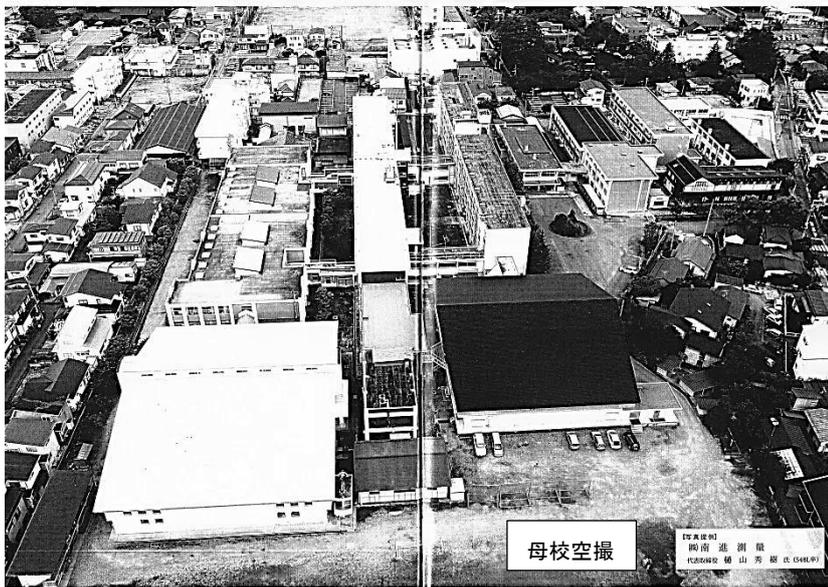
内に8名、県外に21名、公務員(自衛隊)に2名の内定を、四年生  
大学進学2名、専門学校進学7名となりました。多くの生徒の進路先  
が、電気系であることを大変うれしく思っております。

会津工業高校の卒業生は、企業人として社会生活を支える人材とな  
っています。

先輩方に続いて、信頼されている人材になってほしいと思うばかり  
です。

真剣・慎重に行動できる人材になってください。課題研究という科  
目から感じたことです。

“かちのまち”より応援しています。卒業おめでとうございます。



《会員動向》

◎平成二十九年春の叙勲受章者のご紹介

市政改革に心血注ぐ

工高卒。富士通社員だった昭和六十二年に会津若松市議に初当選し、平成十九年まで五期二十年務

☆旭日双光章  
藤田 晴史さん70  
会津若松市馬場町



会社員としての経験を  
生かし、議員として行政  
に民間の手法を導入しよ  
うと新たな思考、柔軟な  
発想で市政改革に尽力し  
た。「多くの人に支えて  
もらった。光栄なことだ。  
大変うれしい」  
会津若松市出身。会津  
輩に期待を寄せる。

昭和40年電気科卒 現:会工同窓会 会長

※おめでとうございます

会報掲載にあたっては、福島民報社  
平成29年4月29日の記事を引用

《電友会仲間の活動紹介》

熊の子会 解散し「31E・白虎会」発足す

会津若松市 鈴木 安太郎(昭和三十一年卒)

私たちの同級会は、在学中(昭和29年/1954年)担任・大沢熊義先生の親切な教えが魅力的に思い出ることから、一字を戴き「熊の子会」と命名し、次の様に開催してまいりました。

1. 1988年 6月 東京都新宿20名(東京近辺での懇親会)
2. 1988年11月 鬼怒川温泉25名(大沢先生出席)
3. 1997年 1月 会津東山温泉20名  
(保志先生出席・還暦のお祝い)
4. 2003年 1月 沖縄県那覇市25名
5. 2004年 4月 京都・奈良21名  
(在学時の修学旅行を思い出して)
6. 2005年 9月 会津湯野上温泉22名

7. 2006年 9月 宮城県仙台・松島15名
  8. 2007年 9月 神奈川県横浜市24名
  9. 2008年 9月 山梨県23名
  10. 2009年 9月 岡山県23名
  11. 2010年10月 埼玉県22名
  12. 2011年10月 会津22名
  13. 2012年10月 沖縄県23名(うち特別参加2名)
  14. 2013年10月 東京28名
  15. 2014年10月 茨城県19名
  16. 2015年10月 会津東山温泉15名
  17. 2016年 岡山県 ※参加者少数の為開催中止
  18. 2017年10月 会津東山温泉12名
- (以上の資料提供者 金作等)

今回まで十七回が開催でき、卒寿となり参加者も減少し、別表のような理由で欠席されて居るので、今後参加が期待される方は諸用事10名と透析2名と思われまます。

そこで、「熊の子会」を解散して「31E白虎会」で発足。幹事的には、東京(湯田幸八・金作等)、茨城(渡部正義)、地元会津(佐野常雄・鈴木安太郎)。夫々、地区持ち回りで、諸行事や文化遺産・歴史等を見学し、余生を楽しみ、百歳を目標に頑張ろうじやありませんか。諸用事のある方は、都合を付けてご参加ください。その際は、地区幹事の方にご連絡下さいませようお待ちいたしております。最後になりましたが、電友会への入会(年会費千円)お忘れなくよろしくお願い申し上げます。

平成29年	熊の子会	同級会	回答内容
(理由)	48名		内 容
出席	9		夫妻3組 計12名
故人	14		S29~H28
音信無し	3		ハガキの返信無し
不参加	22		諸用事 10
			介護 1
			歩行困難 1
			透析 2
			病弱 8



2017年10月25～26日  
東山温泉 御宿東鳳



31会工電氣卒 「熊の子会in会津」



1988年11月5～6日 熊の子会 in 鬼怒川 大沢先生参加



1988年6月19日 東京新宿にて

地域活性化をめざして

コミュニティバス「さわやか号」の運行状況について

会津若松市 菊地 良三(昭和三十七年卒)

(地域環境)

私たちの住む会津若松市金川町は会津若松駅の西側約1km、市内中心部より約2kmに位置し、隣接の田園町と合わせて人口約2,800人、世帯数約1,200の規模である。市内他地域と比較して中心部からほど近い場所に位置しているとはいえ、高齢者にとっては中心部の買い物、通院等に徒歩で出かけるのは極めて困難である。

(高齢化によるニーズの高まり)

町内の道路は、狭隘で路線バスが走るのには難しい地形であったことから、公共交通の空白地帯となっていた。町内の高齢化率が高くなつていくにつれ、買い物、通院などのための移動手段を求める声が強くなつてきたことにより、平成23年～24年にかけて、会津バスによる路線バス運行の実証実験を行ったが利用者の増加は見られずやむなく断念せざるを得なかった。

(住民主体のコミュニティバス運行の立ち上げ)

しかし、一部の利用者からバスの継続運行を望む強い要望があり、平成24年～25年の2年間をかけて「住民アンケート」「地位との話し合い」「各種会合などを利用した地域への徹底したPR」等従来までのバス事業者任せの運行ではなく、地域住民が主体となつて徹底した検討を重ね、地域の町内役員会、民生委員、老人会等各部門の住民がメンバーになり『金川町・田園町コミュニティバス運営協議会』を立ち上げ、「行政」「バス事業者」と共に三位一体となつて連携を密にし、平成26年11月本格運行にこぎつけた。それ以降は毎月の「運営協議会」で、運行実績の確認、利用者の声の把握、利用促進方策の計画等をつぶさに検討し、行政(市役所地域づくり課)、バス事業者(会津乗合自動車)、地元スーパー(リオン・ドール)との綿密な連携のもとで利用し易いコミュニティバスの運行を継続している。

(コミュニティバス運行形態と利用実績)

バスの運行形態は、一日3本、一週平日(月～金)5日運行で利用実績としては一日平均利用者数が14人～15人程度であるが地域住民と

しては便利な足として定着しつつある。

また、利用実態としては、市内中心部の買い物、小グループでの飲食、通院、会津稽古堂、会津図書館、市役所等幅広く利用している。

(これからの利用促進)

このバスの更なる利用促進策として「ランチ会」を月一回設け、ちよっとお洒落な食事会として募集し、引きこもりがちな特に高齢者にとつては皆と会する絶好のチャンスとなり大変喜ばれている。そのほか、まだ利用経験のない人達を対象とした「乗車体験ツアー」等も年2回実施している。

今後の計画としては、町内のどこでも乗車・下車できる「フリー乗降」の申請、車両ラッピング等ビジュアル面での創意工夫等も考慮していきたいと思う。

(国土交通大臣表彰受賞)

サブプライズとして、これらの活動が評価され、昨年11月に、地域公共交通優良団体として「国土交通大臣表彰」を受賞した。今後この榮譽を胸に、更なる進化を目指していきたい。



コミュニティバス 後列右から2番目 菊地良三氏



国土交通大臣表彰受賞 前列右端 菊地良三氏

### 近況報告

会津若松市 村澤智 (昭和六十二年卒)



市議会 一般質問

会工電友会々員の皆さま、こんにちは。会津若松市議議員の村澤さんでございませう。

日頃より私の議員活動に對しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

おかげさまで、議員生活も3年目を迎えることが出来ました。

初めての寄稿ですので、少し自己紹介をさせていただきます。私は、昭和62年

電気科卒、年齢は今年50歳になります。趣味は、磐梯山登山や鶴ヶ城ハーフマラソンへの参加などで、普段から積極的に体を動かすことにより、将来介護のお世話にならないよう心掛けております。

さて、会津若松市政の現状について3点ほど紹介いたします。  
1点目は、行仁小学校の建替とその周辺にある消防屯所やコミュニティセンター、児童館などの施設を複合化する計画は地域住民を巻き込み議論が進められてきました。賛否両論ある中で、子ども達の教育の場としての安全・安心を確保するために、複合化はしないことになりました。地域の拠点となる施設としての学校は、将来の超少子高齢化社会に向けて、新たな手本になると楽しみにしていただけに残念です。

2点目は、旧県立病院跡地の活用方法について、子どもの遊び場、子育て世代から高齢者が集う場、冬期間でも数百人規模のイベントが開催できるコンベンションホールなどの建設を模索しているようです。将来、施設が出来ることにより中心市街地に賑わいが戻ることを楽しみに、我々議員も市民の皆さまがより活用しやすい施設の建設が実現するよう意見を述べてまいります。



消防団検閲式



# 電友会 会員募集！！

楽しい会です 高齢化に新たな風を！

職業や年齢を超え、新たな出会いも楽しいものです  
学生たちの支援もしています（がんばれ、ガンバレ、がんーぼーれ、...）  
OB個々人として、できることには限りがありますが。。。  
電友会として様々なアイディアを出し合いませんか？  
そして電友会のさらなる活性化！（フレッツ、フレッツ、...）

連絡お待ちしております m(\_)\_m

会員募集担当：47E菊地進 [kikuchi@kansuiko.co.jp](mailto:kikuchi@kansuiko.co.jp) 080-5551-9941

## 会工HP(同窓会)をご覧ください！

<http://www.aizu-th.fks.ed.jp/>

会工の様々な情報が満載です

HPトップに同窓会ホームページの入り口があります

会報も掲載されています

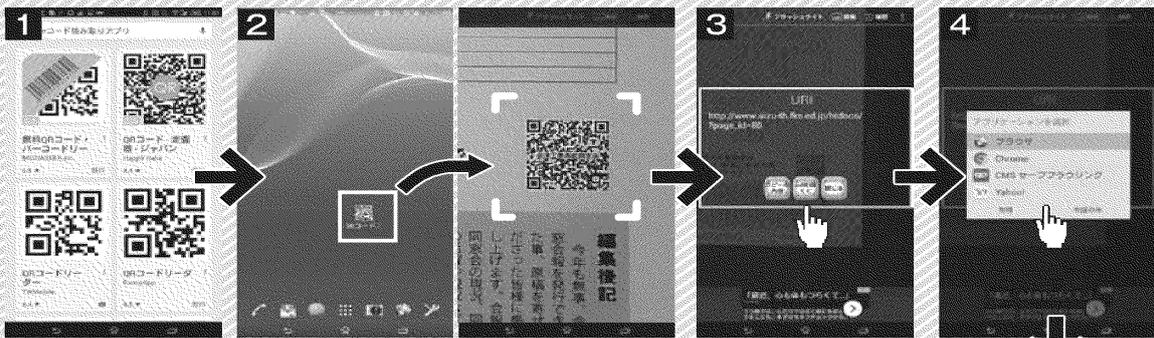
### 同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます



QRコード

投稿用メールアドレス [kaikoudousukai@agate.plala.or.jp](mailto:kaikoudousukai@agate.plala.or.jp)



#### 〈手順〉

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、お好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。

「会工電友会」の役員紹介

(任期…一年間の暫定延長により2019年9月まで)

役職名	氏名	卒年
会長	佐野 常雄	S31
副会長	渡部 昭寿	S34
	成田 良	S35
	鹿目 忠明	S40
監事	栗城 隆彦	S36
	長谷川 与一	S40
会計	近藤 信行	S40
事務局長	白井 達夫	S43
庶務理事	菊地 進	S47
	大越 一郎	S35
	中丸 茂由	S37
	藤田 晴史	S40
顧問	渡部 幸雄	S43
	栢森 幸雄	S27
	山口 健	S29
	荒明 正義	S30
	根本 一雄	S36
	菊地 良三	S37

「会工同窓会本部役員」に就いている電気科同窓生の紹介

本部役職名	氏名(敬称略)	卒年	備考
会長	藤田 晴史	S40	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43	若松会工学生会長
副会長	田中 健一	S42	東京会工学生会長
幹事	渡部 昭寿	S34	本部選出
	近藤 信行	S40	本部選出
〃	野中 寿勝	S50	本部選出
〃	村澤 智	S62	本部選出
〃	本名 雄一	H13	近畿会工学生会務局長
〃	星 秀明	S40	福島会工会幹事長
〃	長谷川与一	S40	猪苗代会工会幹事長
〃	小島 淳一	S41	西会津会工会幹事長
〃	佐野 常雄	S31	湯川会工会幹事長
〃	白井 達夫	S43	会工電友会事務局長
〃	徳永 正浩	S55	東京電力パワークリエイト会工学生会長
監事	佐野 常雄	S31	会工電友会会長
参与	石川 善一	S39	近畿会工学生会長
	二瓶 嘉人	S39	福島会工学生会長
〃	星 武	S27	福島会工会前会長
〃	大川原昌之	S28	いわき会工学生会長
事務局	真田 郁夫	S57	会津工業高校教職員

会工同窓会報 2017 版参照 2017 年 10 月改選 任期 2 年

【編集後記】

昨年はほんの少しだけ雪片付けをしたと思う。今年は腰が痛くなるほどやった。冬は終わってないのでまだ大雪はあるのかな。

雪片付け中に雪の層を見つけた。それを見たら木の年輪を思い出したのに始まり地層や年表とどんだん連想が広まっていく。

七十年前の磁場反転の痕跡を残す地層が千葉県にあるそうだ。「ブラタモリ」でやっていたよな。そういえば会津にも来たよな。会津盆地は東西の地殻変動によってできた「構造盆地」だそう。

私の人生も年輪のように刻むとどんな感じになるのかな。でも、人間の年輪なんて百年。

次の百年で消えてしまう。溶けて流れりやただの水。この雪のようにはかないものかな。

般若心経でいう「色即是空」「空即是色」はこんなことかな。でも雪の塊はなんともじゃまな存在。きりがないのでそろそろ終わりにしようかな。

(編集委員 鹿目 忠明 昭和四十年卒)

\*編集委員

- 佐野 常雄(昭和三十一年卒)
- 鹿目 忠明(昭和四十年卒)
- 菊地 進(昭和四十七年卒)
- 近藤 信行(昭和四十年卒)
- 白井 達夫(昭和四十二年卒)
- 菊地 良三(昭和三十七年卒)



会員の増加を図りましょう！  
電気科・電子科卒の知人・友人を勧誘しましょう。  
一報をお待ちしております。  
◎会員募集担当:47E 菊地進  
[kikuchi@kansui.co.jp](mailto:kikuchi@kansui.co.jp)  
080-5551-9941